

## A) 積極的に防除作業を行い、島内からの排除を目指す種類

1

# オオフサモ

アリノトウグサ科 *Myriophyllum aquaticum*

原産地：南アメリカ

外来生物法：特定外来生物

生態系被害防止外来種リスト：緊急対策外来種

## 特徴

水槽用の水草としてかつて一般に流通していた。河川湖沼、水田、水路などで繁茂する。成長が早く、自身の茎を絡ませながら、マット状に生育する。

葉：鳥の羽のような葉が茎に5、6枚ずつ車輪状につく。色はライトグリーン。

花：暖かい時期に葉の付け根に白いほこりのような花を咲かせる。

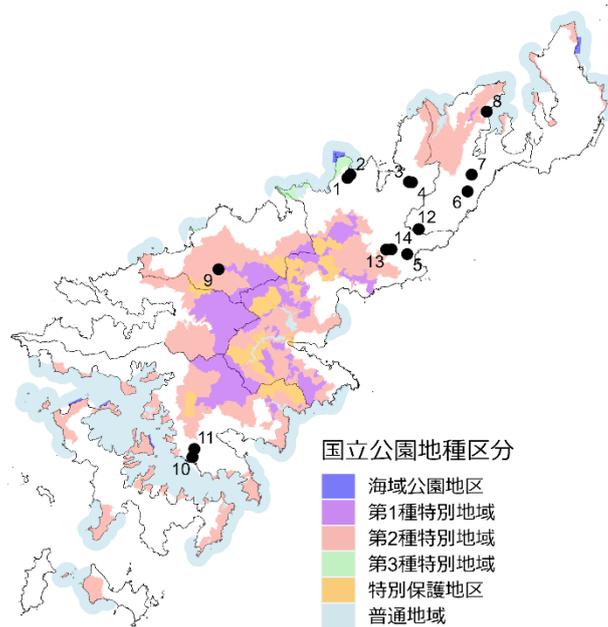
繁殖：雌株と雄株がある雌雄異株で、日本には雌株しかないとされ、種子繁殖は確認されていない。栄養繁殖が旺盛で、千切れた茎の断片から根を出して再生する。



影響：水路や湖沼で大繁茂し、在来植物と競合する他、水流を妨げるなどの影響が報告されている。また奄美大島でも水田に侵入し、作物と競合してしまうことで農業被害が起きている。

侵入状況 : 令和6年1月現在、奄美大島内の河川、水田など14カ所で生育が確認されている。

オオフサモ生育地点(奄美大島)  
2024年1月17日現在



島名	大地点	地点名
奄美大島	1	小宿大川
奄美大島	2	小宿-三儀山間
奄美大島	3	仲勝川
奄美大島	4	田中一村終焉の家
奄美大島	5	大川
奄美大島	6	大勝河川
奄美大島	7	加世間又水田
奄美大島	8	龍郷集落
奄美大島	9	福元
奄美大島	10	仲里川
奄美大島	11	旧奄美の園
奄美大島	12	倍又
奄美大島	13	奄美市農業研究センター
奄美大島	14	泥染公園

対策状況 : 4カ所で継続的な防除作業を実施。河川内では大規模な生育が見られ、重機と手作業を組み合わせた丁寧な駆除作業が求められる。

防除のコツ : 種子繁殖しないため防除の時期は問わない。土中に残存した根からも再生育するため、丁寧な抜き取り作業が求められる。約1ヶ月で取り残した根からの再生育が視認しやすくなるため、1ヶ月間隔での定期的な抜き取り作業が望ましい。